

大学番号：国023

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
医歯学系専攻（博士課程）

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 東京医科歯科大学
平成27年5月1日現在

作成担当者	
学長企画室	
職名・氏名	企画第一掛長 ヤマモト テツヤ 山本 哲也
電話番号	03-5803-5021
(夜間)	03-5803-5021
F A X	03-5803-0273
e-mail	houki.adm@tmd.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医歯学総合研究科

<医歯学専攻（博士課程）>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等

- (1) 設置者 . . . 1
- (2) 大学名 . . . 1
- (3) 大学の位置 . . . 1
- (4) 管理運営組織【該当なし】 . . . 1
- (5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等 . . . 2

2. 授業科目の概要

- (1) 授業科目表 . . . 5
- (2) 授業科目数 . . . 23
- (3) 未開講科目 . . . 24
- (4) 廃止科目 . . . 24
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」
及び「学生への周知方法」 . . . 25
- (6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目
と廃止科目の計」の割合 . . . 25

3. 施設・設備の整備状況、経費 【該当なし】 . . . 26

4. 既設大学等の状況 . . . 27

5. 教員組織の状況

- (1) 担当教員表【該当なし】 . . . 29
- (2) 専任教員数 . . . 29

(3)	専任教員辞任等の理由【該当なし】	・・・	30
(4)	専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」【該当なし】	・・・	30
6.	留意事項等に対する履行状況等 【該当なし】	・・・	31
7.	その他全般的事項		
(1)	設置計画変更事項等【該当なし】	・・・	32
(2)	教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）【該当なし】	・・・	32
(3)	自己点検・評価等に関する事項【該当なし】	・・・	33
(4)	情報公表に関する事項	・・・	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 東京医科歯科大学

(2) 大学名

東京医科歯科大学大学院

(3) 大学の位置

〒113-8510

東京都文京区湯島1-5-45

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

該当なし

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医歯学総合研究科 医歯学系専攻(博士課程) 博士(医学)、博士(歯学)、 博士(学術)	4年	189人	756人	基礎となる学部等 医学部医学科、歯学部歯学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	189 (-) [-]		189 (-) [-]		189 (-) [-]		189 (-) [-]		189 (-) [-]		1.26倍	— 倍	
志願者数	244 (92) [26]	14 (0) [14]	271 (85) [38]	19 (0) [19]	269 (90) [27]	32 (0) [32]	265 (70) [37]						
受験者数	240 (90) [26]	14 (0) [14]	264 (84) [36]	19 (0) [19]	263 (88) [26]	32 (0) [32]	261 (69) [36]						
合格者数	225 (82) [25]	14 (0) [14]	242 (78) [25]	19 (0) [19]	232 (78) [24]	32 (0) [32]	217 (60) [22]						
B 入学者数	224 (81) [25]	14 (0) [14]	227 (78) [24]	19 (0) [19]	228 (78) [23]	32 (0) [32]	212 (60) [21]						
入学定員超過率 B/A	1.25		1.30		1.37		1.12						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様に行ってください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[25] (-) 224	[-] (-) —	[24] (2) 229	[14] (-) 14	[23] (1) 228	[19] (0) 19	[21] (4) 216	[32] (0) 32			
2年次			[25] (-) 221	[-] (-) —	[24] (6) 225	[13] (-) 13	[25] (2) 218	[19] (0) 19			
3年次					[23] (-) 215	[-] (-) —	[24] (8) 222	[13] (-) 13			
4年次							[23] (-) 208	[-] (-) —			
計	[25] (-) 224	[-] (-) —	[63] (2) 464	[14] (-) 14	[102] (7) 700	[19] (0) 19	[157] (14) 928	[32] (0) 32			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	238 人	6 人	平成24年度	1 人	0 人	その他	2.5 %
			平成25年度	3 人	1 人	進路変更(2人), 授業料未納(1人)	
			平成26年度	2 人	0 人	授業料未納(2人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	246 人	10 人	平成25年度	6 人	0 人	進路変更(5人), 家庭の事情(1人)	4.1 %
			平成26年度	4 人	0 人	病気療養(1人), 家庭の事情(1人),他の教育機関への転学(2人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	260 人	9 人	平成26年度	9 人	1 人	進路変更(4人), 経済的理由(3人), 家庭の事情(1人),他の教育機関への転学(1人)	3.5 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	212 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	956 人	25 人					2.6 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医歯学総合研究科 医歯学系専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	初期研究研修	1		1		11	7					
	医歯学総合特論（大学院セミナー）	1, 2, 3, 4		2		1						
	医歯学先端研究特論（大学院特別講義）	1, 2, 3, 4		4		1						
						33	25	21	57			教員選考中等のため(27)
						26	27	22	57			教員選考中等のため(26)
						34	25	22	57			教員選考中等のため(24)(25)
	医歯学総合研究科コース特論	1, 2, 3, 4		6		42	29	24	54			
						19	15	17	36			教員選考中等のため(27)
						17	15	16	35			教員選考中等のため(26)
						16	15	16	35			教員選考中等のため(25)
	包括臨床演習	2, 3, 4		8		23	14	17	33			
	先端口腔科学特論	1, 2		4						兼 1		
	疾患予防科学概論 I	1		1		3	1				疾患予防グローバルリーダー養成プログラム採択に伴い、履修する留学生を対象とした新規科目を開設(27)	
	疾患予防パブリックヘルス医学概論	1, 2, 3		2		5	1	2				
生命理工学科目	生命科学特論 I	1		3		1	0					教員選考中等のため(26)
	生命科学特論 II	1		3		2	2			兼 5	連携大学院分野教員を追加(26)	
							0					
	生命情報科学特論	1		3		1	1					教員選考中等のため(24)(25)
	先端機能分子特論	1		3		3						
							0					
	生体機能材料科学特論	1		3		1	1					教員選考中等のため(26)
	生体材料工学特論	1		3			2					
	ナノバイオテクノロジー特論	1		3		3	2					教員選考中等のため(26)
	英語プレゼンテーション特論	1		3						兼 1		
	理研生体分子制御学特論	1		3						兼 6	理化学研究所との連携大学院分野を設置したために新規科目開設(25)	
口腔病理						0		1	1			教員選考中等のため(27)
	口腔病理学特論	1, 2		6		1		1	1			

埋学 分野 科目					0		1	1		教員選考中等のため(27)
	口腔病理学演習	1, 2	4		1		1	1		
	研究実習	2~4	8		1		1	1		
細菌感染制御学 分野 科目					0					教員選考中等のため休講(27) 教員選考中等のため休講(27)
	細菌感染制御学特論	1, 2	6		1					
	細菌感染制御学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
分子免疫学 分野 科目					1	1		1		教員採用のため(26) 教員選考中等のため(25) 教員採用のため(26) 教員選考中等のため(25)
	分子免疫学特論	1, 2	6		1	0		1		
	分子免疫学演習	1, 2	4		1	1		1		
	研究実習	2~4	8		1	0		1		
先端材料評価学 分野 科目	先端材料評価学特論	1, 2	6		1					
	先端材料評価学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
口腔病態診断科 学 分野 科目	口腔病態診断科学特論	1, 2	6				1			誤字を訂正(27) 誤字を訂正(27)
	口腔病態診断科学演習	1, 2	4				1			
	研究実習	2~4	8				1			
有機材料学 分野 科目	有機材料学特論	1, 2	6		1			1		
	有機材料学演習	1, 2	4		1			1		
	研究実習	2~4	8		1			1		
機能材料学 分野 科目	機能材料学特論	1, 2	6				1		1	誤字を訂正(27)
	機能材料学演習	1, 2	4				1		1	
	特別研究実習	2~4	8				1		1	
口腔放射線腫瘍学 分野 科目	口腔放射線腫瘍学特論	1, 2	6		1					
	口腔放射線腫瘍学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
顎口腔外科学					1	0		1		教員選考中等のため(27) 教員選考中等のため(26) 教員選考中等のため(27)
	顎口腔外科学特論	1, 2	6		0	1		1		
					1	0		1		

分野科目	顎口腔外科学演習	1, 2	4			0	1	1			教員選考中等のため(26)
	研究実習	2~4	8			1	1	1			
口腔放射線医学分野科目	口腔放射線医学特論	1, 2	6			1	1	2			
	口腔放射線医学演習	1, 2	4			1	1	2			
	研究実習	2~4	8			1	1	2			
麻酔・生体管理学分野科目	麻酔・生体管理学特論	1, 2	6			1					
	麻酔・生体管理学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
疼痛制御学分野科目	疼痛制御学特論	1, 2	6			1					
	疼痛制御学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
小児歯科学分野科目	小児歯科学特論	1, 2	6			0	1	1			教員選考中等のため(27)
						0	0	1			教員選考中等のため(24) (25) (26)
						1	0	1			教員選考中等のため(27)
						0	0	1			教員選考中等のため(24) (25) (26)
	小児歯科学演習	1, 2	4			1	0	1			
	研究実習	2~4	8			1	1	1			
咬合機能矯正学分野科目	咬合機能矯正学特論	1, 2	6			1					
	咬合機能矯正学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
う蝕制御学分野科目	う蝕制御学特論	1, 2	6			1	1	2	7		
	う蝕制御学演習	1, 2	4			1	1	2	7		
	研究実習	2~4	8			1	1	2	7		
摂食機能保存学分野科目	摂食機能保存学特論	1, 2	6			1	1	1	7		
	摂食機能保存学演習	1, 2	4			1	1	1	7		
	研究実習	2~4	8			1	1	1	7		
歯髄生物学分野科目	歯髄生物学特論	1, 2	6			1	2	2			教員採用のため(27)
						0	2	2			教員選考中等のため(26)
						1	2	2			教員採用のため(27)
						0	2	2			教員選考中等のため(26)
	歯髄生物学演習	1, 2	4			1	2	2			

	研究実習	2~4	8			1	2	2		
部分床義歯補綴学分野科目	部分床義歯補綴学特論	1, 2	6			1	1			教員採用のため(26)
						0	1			教員選考中等のため(25)
	部分床義歯補綴学演習	1, 2	4			1	1			教員採用のため(26)
	研究実習	2~4	8			0	1			教員選考中等のため(25)
口腔インプラント再生医学分野	インプラント・口腔再生医学特論	1, 2	6			1	1	1	1	
	インプラント・口腔再生医学演習	1, 2	4			1	1	1	1	
	研究実習	2~4	8			1	1	1	1	
全部床義歯補綴学分野科目	全部床義歯補綴学特論	1, 2	6			1			4	近年の社会の高齢化に伴い、口腔領域からのより深く緻密な高齢者対応が要求されることから、高齢者に関する効果的な歯科医療の開発・改善と学術創成を行うことを目的として、高齢者歯科学分野と全部床義歯補綴学分野を統合したため廃止(25)
	全部床義歯補綴学演習	1, 2	4			1			4	
	研究実習	2~4	8			1			4	
形成・再建外科学分野	形成・再建外科学特論	1, 2	6			1		1	1	誤字を訂正(27)
	形成・再建外科学演習	1, 2	4			1		1	1	誤字を訂正(27)
	研究実習	2~4	8			1		1	1	
頭頸部外科学分野科目	頭頸部外科学特論	1, 2	6			1			1	教員採用のため(27)
						0			1	教員選考中等のため(26)
						1			1	教員採用のため(27)
	頭頸部外科学演習	1, 2	4			0			1	教員選考中等のため(26)
	研究実習	2~4	8			1			1	
腫瘍放射線医学治療学分野科目	腫瘍放射線治療学特論					1	0			授業科目名称変更(26)、教員選考中等のため(26)(27)
						0	1			教員選考中等のため(25)
	腫瘍放射線医学特論	1, 2	6			1	1			
	腫瘍放射線治療学演習					1	0			授業科目名称変更(26)、教員選考中等のため(26)(27)
	腫瘍放射線医学演習	1, 2	4			0	1			教員選考中等のため(25)
	研究実習	2~4	8			1	1			
顎顔面解剖学分	顎顔面解剖学特論	1, 2	6			1	1		2	
	顎顔面解剖学演習	1, 2	4			1	1		2	
	研究実習	2~4	8			1	1		2	

分野科目 認知神経生物学	認知神経生物学特論	1, 2	6			1		1	1			
	認知神経生物学演習	1, 2	4			1		1	1			
	研究実習	2~4	8			1		1	1			
科目 分子発生学分野	分子発生学特論	1, 2	6			1	1		1			
	分子発生学演習	1, 2	4			1	1		1			
	研究実習	2~4	8			1	1		1			
分野科目 分子細胞機能学分野	分子細胞機能学特論	1, 2	6			0	1		1		教員選考中等のため(27)	
	分子細胞機能学演習	1, 2	4			1	1		1			教員選考中等のため(27)
	研究実習	2~4	8			1	1		1			
	分子細胞機能学特論	1, 2	6			1	1		1			
科目 金属材料学分野	金属材料学特論	1, 2	6			1			2			
	金属材料学演習	1, 2	4			1			2			
	研究実習	2~4	8			1			2			
分野科目 バイオデザイン	バイオデザイン特論	1, 2	6			1			1			
	バイオデザイン演習	1, 2	4			1			1			
	研究実習	2~4	8			1			1			
分野科目 顎顔面外科学分	顎顔面外科学特論	1, 2	6			1		2	6			
	顎顔面外科学演習	1, 2	4			1		2	6			
	研究実習	2~4	8			1		2	6			
分野科目 顎顔面矯正学分	顎顔面矯正学特論	1, 2	6			1						
	顎顔面矯正学演習	1, 2	4			1						
	研究実習	2~4	8			1						
分野科目 顎顔面補綴学分	顎顔面補綴学特論	1, 2	6			1		1	2			
	顎顔面補綴学演習	1, 2	4			1		1	2			
	研究実習	2~4	8			1		1	2			
科目 細胞生物学分野	細胞生物学特論	1, 2	6			1						
	細胞生物学演習	1, 2	4			1						
	研究実習	2~4	8			1						
分野科目 病態代謝解析学	病態代謝解析学特論	1, 2	6			1			3			
	病態代謝解析学演習	1, 2	4			1			3			
	研究実習	2~4	8			1			3			
分野科目 運動器外科	運動器外科学特論	1, 2	6			1						
	運動器外科学演習	1, 2	4			1						

学分	研究実習	2~4	8			1					
硬組織構造生物学分野科目	硬組織構造生物学特論	1, 2	6			0	1		1		教員選考中等のため(27)
	硬組織構造生物学演習	1, 2	4			1	1		1		教員選考中等のため(27)
	研究実習	2~4	8			1	1		1		
	研究実習	2~4	8			1	1		1		
硬組織薬理学分野科目	硬組織薬理学特論	1, 2	6			0	1		1		教員選考中等のため(26) (27)
	硬組織薬理学演習	1, 2	4			1	1		1		教員選考中等のため(26) (27)
	研究実習	2~4	8			1	1		1		
	研究実習	2~4	8			1	1		1		
結合組織再生学分野科目	結合組織再生学特論	1, 2	6				1				
	結合組織再生学演習	1, 2	4				1				
	研究実習	2~4	8				1				
硬組織病態生化学分野科目	硬組織病態生化学特論	1, 2	6			0	1	1	1		教員選考中等のため(25) (26) (27)
	硬組織病態生化学演習	1, 2	4			1	1	1	1		教員選考中等のため(25) (26) (27)
	研究実習	2~4	8			1	1	1	1		
	研究実習	2~4	8			1	1	1	1		
分子情報伝達学分野科目	分子情報伝達学特論	1, 2	6			0	1		3		教員選考中等のため(24) (25) (26) (27)
	分子情報伝達学演習	1, 2	4			1	1		3		教員選考中等のため(24) (25) (26) (27)
	研究実習	2~4	8			0	1		3		教員選考中等のため(24) (25) (26) (27)
	研究実習	2~4	8			1	1		3		
無機材料学分野科目	無機材料学特論	1, 2	6			1			2		
	無機材料学演習	1, 2	4			1			2		
	研究実習	2~4	8			1			2		
歯周病学分野科目	歯周病学特論	1, 2	6			1	1	1			
	歯周病学演習	1, 2	4			1	1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1	1			
国際健康推進医学分野科目	国際健康推進医学特論	1, 2	6				1	2	1		健康推進医学分野と国際保健医療協力学分野を統合し、教員を追加(27) 教員選考中等のため(27)
	国際健康推進医学演習	1, 2	4				1	2	1		
	研究実習	2~4	8				1	2	1		

健康推進医学分野	健康推進医学特論	1,2	6			1			2		近年の少子高齢化、世界的な都市化、国境を越えた社会経済活動の拡大に伴う疾病構造と生活環境、地球環境の変化により、健康推進医学と国際保健医療協力学が同時に関与する教育研究を推進することがより一層必要となっていることから、国内外の疾病及び健康課題を踏まえた国際的な健康推進医学の学術創成を目的とし、国際保健医療協力学分野と健康推進医学分野を統合したため廃止(27)
	健康推進医学演習	1,2	4			1			2		
	研究実習	2~4	8			1			2		
国際環境寄生虫病学分野科目	国際環境寄生虫病学特論	1,2	6			1	1		2		誤字を訂正(27)
	国際環境寄生虫病学演習	1,2	4			1	1		2		誤字を訂正(27)
	研究実習	2~4	8			1	1		2		
法医学分野科目	法医学特論	1,2	6			1		1	2		
	法医学演習	1,2	4			1		1	2		
	研究実習	2~4	8			1		1	2		
国際保健医療協力学分野科目	国際保健医療協力学特論	1,2	6				1		1		近年の少子高齢化、世界的な都市化、国境を越えた社会経済活動の拡大に伴う疾病構造と生活環境、地球環境の変化により、健康推進医学と国際保健医療協力学が同時に関与する教育研究を推進することがより一層必要となっていることから、国内外の疾病及び健康課題を踏まえた国際的な健康推進医学の学術創成を目的とし、国際保健医療協力学分野と健康推進医学分野を統合したため廃止(27)
	国際保健医療協力学演習	1,2	4				1		1		
	研究実習	2~4	8				1		1		
政策科学分野科目	政策科学特論	1,2	6			1					
	政策科学演習	1,2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
分子疫学分野科目	分子疫学特論	1,2	6			1			1		
	分子疫学演習	1,2	4			1			1		
	研究実習	2~4	8			1			1		
研究開発学分野科目	研究開発学特論	1,2	6			1					
	研究開発学演習	1,2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
医療政策情報学分野科目	医療政策情報学特論	1,2	6				1				
	医療政策情報学演習	1,2	4				1				
	研究実習	2~4	8				1				
先端進倫理医科学分野科目	先端進倫理医科学特論	1,2	6			1					誤字を訂正(27)
	先端進倫理医科学演習	1,2	4			1					誤字を訂正(27)
	研究実習	2~4	8			1					
健康推進歯学分野科目	健康推進歯学特論	1,2	6			1	1		1		
	健康推進歯学演習	1,2	4			1	1		1		
	研究実習	2~4	8			1	1		1		
スポーツ医歯学分野科目	スポーツ医歯学特論	1,2	6				1		2		
	スポーツ医歯学演習	1,2	4				1		2		
	研究実習	2~4	8				1		2		
						1					教員採用のため(27)

法歯学分野科目	法歯学特論	1, 2	6		0				兼1	教員選考中等のため休講(24)(25)(26)
					0					
					1					教員採用のため(27)
	法歯学演習	1, 2	4		0				兼1	教員選考中等のため休講(24)(25)(26)
	研究実習	2~4	8		1				兼1	
医療経済学分野科目	医療経済学特論	1, 2	6		1		1			
	医療経済学演習	1, 2	4		1		1			
	研究実習	2~4	8		1		1			
歯学教育開発学分野科目	歯学教育開発学特論	1, 2	6		1		1			
	歯学教育開発学演習	1, 2	4		1		1			
	研究実習	2~4	8		1		1			
歯学教育システム評価学分野科目	歯学教育システム評価学特論	1, 2	6		1					
	歯学教育システム評価学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
教育メディア開発学分野科目	教育メディア開発学特論	1, 2	6		1					
	教育メディア開発学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
保険医療管理学分野科目	保険医療管理学特論	1, 2	6		1					保険診療を含めた社会保健医療システムに関する教育方法、教育ツール、人材の育成を図り、今後のわが国の医療供給体制と社会保険医療のあり方に関する研究を推進するため、新規科目を開設し、教員を追加(26)
	保険医療管理学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
血流制御内科学分野科目	血流制御内科学特論	1, 2	6		1					
	血流制御内科学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
リハビリテーション医学分野科目	リハビリテーション医学特論	1, 2	6			1				
	リハビリテーション医学演習	1, 2	4			1				
	研究実習	2~4	8			1				
高齢者歯科学分野科目	高齢者歯科学特論	1, 2	6		1	1	1	7		高齢者歯科学分野と全部床義歯補綴学分野を統合したため、教員を追加(25)
	高齢者歯科学演習	1, 2	4		1	1	1	7		
	研究実習	2~4	8		1	1	1	7		
臨床検査医学分野科目					0	1				教員選考中等のため(27)
	臨床検査医学特論	1, 2	6		4	1				
					0	1				教員選考中等のため(27)
	臨床検査医学演習	1, 2	4		4	1				

目	研究実習	2~4	8			1	1				
救命救急医学 学分野科目 生体集中管理	生体集中管理学特論						1				集中治療医学は、呼吸・循環・代謝疾患をはじめとする重篤な病態の解析と治療の研究をすることから、当該分野の教育・研究・診療内容がより適切に発信されることを目的とし分野名を変更(27)
	救命救急医学特論	1,2	6				1				
	生体集中管理学演習						1				
	救命救急医学演習	1,2	4				1				
	研究実習	2~4	8				1				
心療・緩和医療 学分野科目	心療・緩和医療学特論	1,2	6				1				
	心療・緩和医療学演習	1,2	4				1				
	研究実習	2~4	8				1				
薬物動態学 科目 分野	薬物動態学特論	1,2	6			1					
	薬物動態学演習	1,2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
臨床医学教育 開発学分野 科目	臨床医学教育開発学特論	1,2	6			1		1			
	臨床医学教育開発学演習	1,2	4			1		1			
	研究実習	2~4	8			1		1			
救急災害医学 分野 科目	救急災害医学特論	1,2	6			1		2	3		
	救急災害医学演習	1,2	4			1		2	3		
	研究実習	2~4	8			1		2	3		
臨床腫瘍学 分野 科目	臨床腫瘍学特論	1,2	6			1					がん診療における臨床各科の連携などを推進する医療人を要請するために新規科目開設(24)
	臨床腫瘍学演習	1,2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
障害者歯科学 分野 科目	障害者歯科学特論	1,2	6				1		1		
	障害者歯科学演習	1,2	4				1		1		
	研究実習	2~4	8				1		1		
総合診療歯科学 分野 科目	総合診療歯科学特論	1,2	6				1	2	1		
	総合診療歯科学演習	1,2	4				1	2	1		
	研究実習	2~4	8				1	2	1		
歯科心身医学 分野 科目	歯科心身医学特論	1,2	6			1					
	歯科心身医学演習	1,2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
歯科医療行動 科学分野 科目	歯科医療行動科学特論	1,2	6			1					
	歯科医療行動科学演習	1,2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					

顎関節口腔機能学分野科目	顎関節口腔機能学特論	1, 2	6			0	1			教員選考中等のため(27)	
						1	1				
	顎関節口腔機能学演習	1, 2	4			0	1			教員選考中等のため(27)	
	研究実習	2~4	8			1	1				
先駆的医療人材育成分野科目	先駆的医療人材育成特論	1, 2	6			1	2	1		次世代の社会において活躍しうる医師・歯科医師及び生命科学研究者の先駆的育成のために、近未来の社会的ニーズの同定及びそれらに応える人材育成のための効果的な教育カリキュラムの研究と開発を行い、また同教育に携わる優秀な若手人材の育成を推進するため、新規科目を開設し、教員を追加 (26)	
	先駆的医療人材育成演習	1, 2	4			1	2	1			
	研究実習	2~4	8			1	2	1			
神経機能形態学分野科目	神経機能形態学特論	1, 2	6			1		2			
	神経機能形態学演習	1, 2	4			1		2			
	研究実習	2~4	8			1		2			
システム神経生理学分野科目	システム神経生理学特論	1, 2	6			1	1	1			
	システム神経生理学演習	1, 2	4			1	1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1	1			
細胞薬理学分野科目	細胞薬理学特論	1, 2	6			1		2			
	細胞薬理学演習	1, 2	4			1		2			
	研究実習	2~4	8			1		2			
分子神経科学分野科目	分子神経科学特論	1, 2	6			1		2			
	分子神経科学演習	1, 2	4			1		2			
	研究実習	2~4	8			1		2			
神経病理学分野科目	神経病理学特論	1, 2	6			1	1	1			
	神経病理学演習	1, 2	4			1	1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1	1			
眼科学分野科目	眼科学特論					1	0	2		教員選考中等のため(27)	
						0	1	2			教員選考中等のため(25)(26)
						1	0	2			
						0	1	2			教員選考中等のため(27)
					0	1	2		教員選考中等のため(25)(26)		
眼科学演習	1, 2	4			1	1	2				
研究実習	2~4	8			1	1	2				
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科学特論					1	1	2		教員採用のため(27)	
						0	1	2			教員選考中等のため(26)
						1	1	2			
						1	1	2		教員採用のため(27)	

分野科目					0	1	2		教員選考中等のため(26)
	耳鼻咽喉科学演習	1, 2	4		1	1	2		
	研究実習	2~4	8		1	1	2		
脳神経病態学分野科目					1		2	3	教員採用のため(27)
	脳神経病態学特論	1, 2	6		0		2	3	教員選考中等のため(26)
	脳神経病態学演習	1, 2	4		1		2	3	教員採用のため(27)
	研究実習	2~4	8		0		2	3	教員選考中等のため(26)
精神行動医科学分野科目	精神行動医科学特論	1, 2	6		1				
	精神行動医科学演習	1, 2	4		1				
	研究実習	2~4	8		1				
脳神経機能外科学分野科目	脳神経機能外科学特論	1, 2	6		1	1	1		教員を追加したため(25)
	脳神経機能外科学演習	1, 2	4		1	1	1		教員を追加したため(25)
	研究実習	2~4	8		1	1	1		教員を追加したため(25)
血管内治療学分野科目	血管内治療学特論	1, 2	6		1		1	1	
	血管内治療学演習	1, 2	4		1		1	1	
	研究実習	2~4	8		1		1	1	
NCNP脳機能病態学分野科目	NCNP脳機能病態学特論	1, 2	6						兼7 国立精神・神経医療研究センターとの連携大学院分野を設置したため新規科目開設(25)
	NCNP脳機能病態学演習	1, 2	4						
	研究実習	2~4	8						
免疫アレルギー学分野科目	免疫アレルギー学特論	1, 2	6		1	1	1		
	免疫アレルギー学演習	1, 2	4		1	1	1		
	研究実習	2~4	8		1	1	1		
ウイルス制御学分野科目	ウイルス制御学特論	1, 2	6		1		3		
	ウイルス制御学演習	1, 2	4		1		3		
	研究実習	2~4	8		1		3		
免疫治療学分野科目	免疫治療学特論	1, 2	6		1	1			
	免疫治療学演習	1, 2	4		1	1			
	研究実習	2~4	8		1	1			
生体防御学分野科目	生体防御学特論	1, 2	6		1		1	1	
	生体防御学演習	1, 2	4		1		1	1	
	研究実習	2~4	8		1		1	1	

病態細胞生物学 分野科目	病態細胞生物学特論	1, 2	6			1	1	1	1			
	病態細胞生物学演習	1, 2	4			1	1	1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1	1	1			
代謝応答化学分 野科目	代謝応答化学特論	1, 2	6								兼 1 教員選考中等のため休講 (24) (25) (26) (27)	
	代謝応答化学演習	1, 2	4								兼 1 教員選考中等のため休講 (24) (25) (26) (27)	
	研究実習	2~4	8								兼 1	
免疫応答制御学 分野科目	免疫応答制御学特論	1, 2	6				1					
	免疫応答制御学演習	1, 2	4				1					
	研究実習	2~4	8				1					
環境生物学分野 科目	環境生物学特論	1, 2	6				1					
	環境生物学演習	1, 2	4				1					
	研究実習	2~4	8				1					
発生発達病態学分野 科目	発生発達病態学特論	1, 2	6			1	1	2	2		教員採用のため(27) 教員選考中等のため(26)	
						0	1	2	2			
	発生発達病態学演習	1, 2	4				1	1	2	2		教員採用のため(27) 教員選考中等のため(26)
							0	1	2	2		
膠原病・リウマチ内科学 分野科目	膠原病・リウマチ内科学特論	1, 2	6			1	1				教員採用のため(26) 教員選考中等のため(25)	
						0	1					
	膠原病・リウマチ内科学演習	1, 2	4				1	1				教員採用のため(26) 教員選考中等のため(25)
0							1					
NCCHD成育 医学分野科目	NCCHD成育医学特論	1, 2	6								兼 6	
	NCCHD成育医学演習	1, 2	4								兼 6 国立成育医療研究センターとの連携大学院分野を設置したため新規科目開設(26)	
	研究実習	2~4	8								兼 6	
皮膚科学分野 科目	皮膚科学特論	1, 2	6			1	1	2				
	皮膚科学演習	1, 2	4			1	1	2				
	研究実習	2~4	8			1	1	2				
人体病理学 科目	人体病理学特論	1, 2	6			1						
	人体病理学演習	1, 2	4			1						

分野	研究実習	2~4	8			1					
細胞生理学分野科目						1			0		教員採用のため(26)
	細胞生理学特論	1, 2	6			0			0		教員選考中等のため休講(25)
						1			0		教員採用のため(26)
	細胞生理学演習	1, 2	4			0			0		教員選考中等のため休講(25)
	研究実習	2~4	8			1			3		
分子細胞循環器学分野科目	分子細胞循環器学特論	1, 2	6			1			1		
	分子細胞循環器学演習	1, 2	4			1			1		
	研究実習	2~4	8			1			1		
分子代謝医学分野科目	分子代謝医学特論	1, 2	6			0	0		0		担当教員分野異動等のため休講(24)(25)(26)(27)
	分子代謝医学演習	1, 2	4			1	1		1		担当教員分野異動等のため休講(24)(25)(26)(27)
	研究実習	2~4	8			1	1		1		
幹細胞制御分野科目	幹細胞制御特論	1, 2	6			1	2				
	幹細胞制御演習	1, 2	4			1	2				
	研究実習	2~4	8			1	2				
分子薬理学分野科目	分子薬理学特論	1, 2	6			1	1				
	分子薬理学演習	1, 2	4			1	1				
	研究実習	2~4	8			1	1				
細胞機能調節学分野科目	細胞機能調節学特論	1, 2	6				1				
	細胞機能調節学演習	1, 2	4				1				
	研究実習	2~4	8				1				
形質発現制御学疾患ゲノミクス分野科目	疾患ゲノミクス特論					1			2		
	形質発現制御学特論	1, 2	6			0			0		兼1
	疾患ゲノミクス演習					1			2		
	形質発現制御学演習	1, 2	4			0			0		兼1
	研究実習	2~4	8			1			2		兼1
統合エピゲノミクス分野科目	統合エピゲノミクス特論	1, 2	6				1		1		
	統合エピゲノミクス演習	1, 2	4				1		1		
	研究実習	2~4	8				1		1		
時間生物学	時間生物学特論	1, 2	6				1				

生物学分野 科目	時間生物学演習	1, 2	4			1				
	研究実習	2~4	8			1				
幹細胞医学分野 科目	幹細胞医学特論	1, 2	6			1		2		
	幹細胞医学演習	1, 2	4			1		2		
	研究実習	2~4	8			1		2		
統合呼吸器病学 分野科目	統合呼吸器病学特論	1, 2	6			1				
	統合呼吸器病学演習	1, 2	4			1				
	研究実習	2~4	8			1				
消化器病態学分 野科目	消化器病態学特論	1, 2	6			1				
	消化器病態学演習	1, 2	4			1				
	研究実習	2~4	8			1				
腫瘍総合外科学分野科目	総合外科学特論					1		1		現在の消化器・一般外科の3分野構成は、教育・研究活動の重複、診療理念の不統一など、改善すべき課題があり、3分野の担当領域を特定の臓器群を対象とし、消化管に特化した消化管外科学、腹部実臓器を担当する肝胆膵外科学、全身を対象とする総合外科学に再編することにより、3分野の管理運営を一体的に行い、教育・研究・診療の質と量の向上を図ることを目的とし、分野名を変更(27)、教員採用のため(27)
	腫瘍外科学特論	1, 2	6			0		1		教員選考中等のため(26)
	総合外科学演習					1		1		現在の消化器・一般外科の3分野構成は、教育・研究活動の重複、診療理念の不統一など、改善すべき課題があり、3分野の担当領域を特定の臓器群を対象とし、消化管に特化した消化管外科学、腹部実臓器を担当する肝胆膵外科学、全身を対象とする総合外科学に再編することにより、3分野の管理運営を一体的に行い、教育・研究・診療の質と量の向上を図ることを目的とし、分野名を変更(27)、教員採用のため(27)
	腫瘍外科学演習	1, 2	4			0		1		教員選考中等のため(26)
	研究実習	2~4	8			1		1		
循環制御内科学 分野科目	循環制御内科学特論	1, 2	6			1	1			
	循環制御内科学演習	1, 2	4			1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1			
心肺統御麻酔学 分野科目	心肺統御麻酔学特論	1, 2	6			1	1			
	心肺統御麻酔学演習	1, 2	4			1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1			
心臓血管外 分野科目	心臓血管外科学特論	1, 2	6			1				
	心臓血管外科学演習	1, 2	4			1				

目 科学	研究実習	2~4	8			1					
腎臓内科学分野科目	腎臓内科学特論	1, 2	6			1 0 1 0	1 1 1 1				教員採用のため(27) 教員選考中等のため(26) 教員採用のため(27) 教員選考中等のため(26)
	腎臓内科学演習	1, 2	4			1	1				
	研究実習	2~4	8			1	1				
	生殖機能協関学分野科目	生殖機能協関学特論	1, 2	6			1	1	1		
	生殖機能協関学演習	1, 2	4			1	1	1			
	研究実習	2~4	8			1	1	1			
腎泌尿器外科学分野科目	腎泌尿器外科学特論	1, 2	6			1	1				
	腎泌尿器外科学演習	1, 2	4			1	1				
	研究実習	2~4	8			1	1				
食道・一般消化管外科学分野科目	消化管外科学特論					1		3	5		現在の消化器・一般外科の3分野構成は、教育・研究活動の重複、診療理念の不統一など、改善すべき課題があり、3分野の担当領域を特定の臓器群を対象とし、消化管に特化した消化管外科学、腹部実臓器を担当する肝胆膵外科学、全身を対象とする総合外科学に再編することにより、3分野の管理運営を一体的に行い、教育・研究・診療の質と量の向上を図ることを目的とし、分野名を変更(27)
	食道・一般外科学特論	1, 2	6			1		3	5		
	消化管外科学演習					1		3	5		
	食道・一般外科学演習	1, 2	4			1		3	5		
	研究実習	2~4	8			1		3	5		
呼吸器外科学分野科目	呼吸器外科学特論	1, 2	6			1		1	1		
	呼吸器外科学演習	1, 2	4			1		1	1		
	研究実習	2~4	8			1		1	1		
子都生物学研究分野科目	都医学研疾患分子生物学特論	1, 2	6								兼4
	都医学研疾患分子生物学演習	1, 2	4								兼4
	研究実習	2~4	8								兼4
臨床解剖学分野科目	臨床解剖学特論	1, 2	6			1					
	臨床解剖学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
再生システム発生科・再生医学分野科目	システム発生・再生医学特論	1, 2	6			1					
	システム発生・再生医学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
包括病理学分野科目	包括病理学特論	1, 2	6			1					
	包括病理学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					

分子腫瘍医学分野科目	分子腫瘍医学特論	1, 2	6			1		2			<p>教員採用のため(27)</p> <p>教員選考中等のため(26)</p> <p>教員採用のため(27)</p> <p>教員選考中等のため(26)</p>
	分子腫瘍医学演習	1, 2	4			0		2			
	研究実習	2~4	8			1		2			
診断病理学分野科目	診断病理学特論	1, 2	6					1			
	診断病理学演習	1, 2	4					1			
	研究実習	2~4	8					1			
疾患モデル動物解析学分野科目	疾患モデル動物解析学特論	1, 2	6			1					
	疾患モデル動物解析学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
シグナル遺伝子制御学分野科目	シグナル遺伝子制御学特論	1, 2	6			1		1	1		
	シグナル遺伝子制御学演習	1, 2	4			1		1	1		
	研究実習	2~4	8			1		1	1		
生体機能分子科学分野科目	生体機能分子科学特論	1, 2	6					1	1		
	生体機能分子科学演習	1, 2	4					1	1		
	研究実習	2~4	8					1	1		
医薬品化学分野科目	医薬品化学特論	1, 2	6			1					<p>これからの創薬研究、医薬化学研究は生体分子の構造や機能の理解、ゲノム情報の活用、新しい有機合成化学や分子生物学の積極的な導入等を基盤として、次世代の研究を行う必要があり、生命科学を志向した化学を基盤としてバイオ医薬品、バイオメテック、ゲノム創薬、遺伝子治療等の生命理工学を進めることが、種々の疾患に対する医療系研究に貢献できると考え、当該分野を生命理工学系専攻へ移設し廃止(27)</p>
	医薬品化学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
先端計測開発医学分野科目	先端計測開発医学特論	1, 2	6					0			<p>教員選考中等のため休講(25)(26)(27)</p> <p>教員選考中等のため休講(25)(26)(27)</p>
	先端計測開発医学演習	1, 2	4					1			
	研究実習	2~4	8					1			
先端機器開発医学分野科目	先端機器開発医学特論	1, 2	6					1			
	先端機器開発医学演習	1, 2	4					1			
	研究実習	2~4	8					1			
生体システムバイオメ	バイオメカニクス特論					1					<p>生体力学を基盤として、機械的な機能の発現が最重要となる治療用医療機器について、力学的デザイン、ロボット工学などの研究を推進するため、授業科目名称を変更(25)</p>
	生体システム特論	1, 2	6			1					
	バイオメカニクス演習					1					
	生体システム演習	1, 2	4			1					

力二	研究実習	2~4	8			1					
生体界面工学分野科目	生体界面工学特論	1, 2	6				1		1		
	生体界面工学演習	1, 2	4				1		1		
	研究実習	2~4	8				1		1		
材料機能創成学生体材料機能医学分野科目	生体材料機能医学特論						1		1		
	材料機能創成学特論	1, 2	6				0		0	兼1	細胞と実験動物を利用した材料の安全性、組織適合性、生体機能を統一的、普遍的に評価する方法の開発と学術創成を行うため、授業科目名称を変更し、教員を追加(25)
	生体材料機能医学演習						1		1	兼1	
	材料機能創成学演習	1, 2	4				0		0	兼1	
	研究実習	2~4	8				1		1	兼1	
遺伝制御学分野科目	遺伝制御学特論	1, 2	6			1	1				
	遺伝制御学演習	1, 2	4			1	1				
	研究実習	2~4	8			1	1				
生命情報学分野科目	生命情報学特論	1, 2	6				0				教員選考中等のため休講(25)(26)(27)
	生命情報学演習	1, 2	4				0				教員選考中等のため休講(25)(26)(27)
	研究実習	2~4	8				0				
遺伝子応用医学分野科目	遺伝子応用医学特論	1, 2	6			1					
	遺伝子応用医学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
分子細胞遺伝学分野科目	分子細胞遺伝学特論	1, 2	6			1			1		
	分子細胞遺伝学演習	1, 2	4			1			1		
	研究実習	2~4	8			1			1		
遺伝生化学分野科目	遺伝生化学特論	1, 2	6			1					
	遺伝生化学演習	1, 2	4			1					
	研究実習	2~4	8			1					
構造生物学分野科目	構造生物学特論	1, 2	6				1				
	構造生物学演習	1, 2	4				1				
	研究実習	2~4	8				1				
血液内科学分野科目	血液内科学特論	1, 2	6			1			1		
	血液内科学演習	1, 2	4			1			1		
	研究実習	2~4	8			1			1		
分子内分泌	分子内分泌代謝学特論					1					授業科目名称変更(24)
	分子内分泌内科代謝学特論	1, 2	6			1					

内科代謝学分野	分子内分泌代謝学演習				1					授業科目名称変更(24)
	分子内分泌内科代謝学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
肝胆膵・総合外科学分野科目	肝胆膵外科学特論				1	0				<p>現在の消化器・一般外科の3分野構成は、教育・研究活動の重複、診療理念の不統一など、改善すべき課題があり、3分野の担当領域を特定の臓器群を対象とし、消化管に特化した消化管外科学、腹部実質臓器を担当する肝胆膵外科学、全身を対象とする総合外科学に再編することにより、3分野の管理運営を一体的に行い、教育・研究・診療の質と量の向上を図ることを目的とし、分野名を変更(27)、教員選考中等のため(27)</p> <p>教員採用のため(26)</p> <p>教員選考中等のため(25)</p> <p>現在の消化器・一般外科の3分野構成は、教育・研究活動の重複、診療理念の不統一など、改善すべき課題があり、3分野の担当領域を特定の臓器群を対象とし、消化管に特化した消化管外科学、腹部実質臓器を担当する肝胆膵外科学、全身を対象とする総合外科学に再編することにより、3分野の管理運営を一体的に行い、教育・研究・診療の質と量の向上を図ることを目的とし、分野名を変更(27)、教員選考中等のため(27)</p> <p>教員採用のため(26)</p> <p>教員選考中等のため(25)</p>
	肝胆膵・総合外科学特論	1, 2	6		1	1				
	肝胆膵外科学演習				1	0				
	肝胆膵・総合外科学演習	1, 2	4		1	1				
	研究実習	2~4	8		1	1				
	整形外科学分野	整形外科学特論	1, 2	6		1		1	2	
	整形外科学演習	1, 2	4		1		1	2		
	研究実習	2~4	8		1		1	2		
画像診断・核医学開発学分野科目	画像診断・核医学特論				1	0				<p>授業科目名称変更(26)、教員選考中等のため(26)(27)</p> <p>授業科目名称変更(26)、教員選考中等のため(26)(27)</p>
	画像診断・核医学開発学特論	1, 2	6		0	1				
	画像診断・核医学演習				1	0				
	画像診断・核医学開発学演習	1, 2	4		0	1				
	研究実習	2~4	8		1	1				
疾患多様性遺伝学分野科目	疾患多様性遺伝学特論	1, 2	6		1					ヒト疾患の遺伝学的多様性に係る研究の推進、成果の社会への還元、及び優秀な若手人材の育成を強力に推進するため、新規科目を開設し、教員を追加(25)
	疾患多様性遺伝学演習	1, 2	4		1					
	研究実習	2~4	8		1					
応用再生医学分野科目	応用再生医学特論	1, 2	6		1			1		幹細胞医学・再生医学研究の推進、成果の社会への還元、および優秀な若手人材の育成を強力に推進するため、新規科目を開設し、教員を追加(26)
	応用再生医学演習	1, 2	4		1			1		
	研究実習	2~4	8		1			1		

JFCR腫瘍制 御学分野科目	JFCR腫瘍制御学特論	1,2	6							兼 5
	JFCR腫瘍制御学演習	1,2	4							兼 5
	研究実習	2~4	8							兼 5

公益財団法人がん研究会との連携大学院分野を設置したため新規科目開設(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 423	科目 14	科目 0	科目 437	科目 441	科目 23	科目 0	科目 464	
				[18]	[9]	[0]	[27]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	細菌感染制御学特論	6	1,2		必修	教員を選考中であるため。
2	細菌感染制御学演習	4	1,2		必修	教員を選考中であるため。
3	研究実習	8	2~4		必修	教員を選考中であるため。
4	代謝応答化学特論	6	1,2		必修	教員を選考中であるため。
5	代謝応答化学演習	4	1,2		必修	教員を選考中であるため。
6	研究実習	8	2~4		必修	教員を選考中であるため。
7	分子代謝医学特論	6	1,2		必修	担当教員分野異動等のため。
8	分子代謝医学演習	4	1,2		必修	担当教員分野異動等のため。
9	研究実習	8	2~4		必修	担当教員分野異動等のため。
10	先端計測開発医学特論	6	1,2		必修	教員を選考中であるため。
11	先端計測開発医学演習	4	1,2		必修	教員を選考中であるため。
12	研究実習	8	2~4		必修	教員を選考中であるため。
13	生命情報学特論	6	1,2		必修	教員を選考中であるため。
14	生命情報学演習	4	1,2		必修	教員を選考中であるため。
15	研究実習	8	2~4		必修	教員を選考中であるため。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	健康推進医学特論	6	1,2		必修	近年の少子高齢化、世界的な都市化、国境を越えた社会経済活動の拡大に伴う疾病構造と生活環境、地球環境の変化により、健康推進医学と国際保健医療協力学が同時に関与する教育研究を推進することがより一層必要となっていることから、国内外の疾病及び健康課題を踏まえた国際的な健康推進医学の学術創成を目的とし、国際保健医療協力学分野と健康推進医学分野を統合したため廃止。廃止した授業科目の内容は新たに設置された国際保健推進医学分野を履修することで代替が可能である。(27)
2	健康推進医学演習	4	1,2		必修	
3	研究実習	8	2~4		必修	
4	国際保健医療協力学特論	6	1,2		必修	近年の少子高齢化、世界的な都市化、国境を越えた社会経済活動の拡大に伴う疾病構造と生活環境、地球環境の変化により、健康推進医学と国際保健医療協力学が同時に関与する教育研究を推進することがより一層必要となっていることから、国内外の疾病及び健康課題を踏まえた国際的な健康推進医学の学術創成を目的とし、国際保健医療協力学分野と健康推進医学分野を統合したため廃止。廃止した授業科目の内容は新たに設置された国際保健推進医学分野を履修することで代替が可能である。(27)
5	国際保健医療協力学演習	4	1,2		必修	
6	研究実習	8	2~4		必修	
7	医薬品化学特論	6	1,2		必修	これからの創薬研究、医薬品化学研究は生体分子の構造や機能の理解、ゲノム情報の活用、新しい有機合成化学や分子生物学の積極的な導入等を基盤として、次世代の研究を行う必要があり、生命科学を志向した化学を基盤としてバイオ医薬品、バイオメティック、ゲノム創薬、遺伝子治療等の生命理工学を進めることが、種々の疾患に対する医療系研究に貢献できると考え、当該分野を生命理工学系専攻へ移設し廃止。廃止した授業科目の内容は関連分野の既存の授業科目を履修することで代替が可能である。(27)
8	医薬品化学演習	4	1,2		必修	
9	研究実習	8	2~4		必修	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目及び廃止した科目は必修科目であるが、本専攻の修了要件は、「所属分野が開設する授業科目(特論、演習、研究実習)18単位以上、所属分野以外が開設する特論及び生命理工学科目、共通科目から12単位以上修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。」としているため、未開講科目及び廃止した科目以外の分野に所属し、その所属分野の授業科目(特論、演習、研究実習)を履修することで修了要件を満たすことが可能であり、特に支障はない。また、担当教員がいない科目については、入学生に配付した教育要項に「休講」と記載し、学生に周知している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	24	=		0.05
設置時の計画の授業科目数の計	437			

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	該当なし			m ²		m ²	
	小 計				m ²		m ²	
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室	室		
					(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		〇〇学部 〇〇学科		室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				
	〇〇学部	[]	[]	[]	()	()	()	
	計	[]	[]	[]	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医科歯科大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
医歯学総合研究科 (修士課程) 医歯理工学専攻	2	110	—	215	修士(医科学) (歯科学) (理学) (工学) (口腔保健学) (医療管理学) (医療政策学)	1.04	H24年度	東京都文京区湯島1-5-45
(博士課程)								
医歯学系専攻	4	189	—	756	博士(医学) (歯学) (学術)	1.26	H24年度	
生命理工学系専攻	3	25	—	75	博士(理学) (工学)	0.65	H24年度	
口腔機能再構築学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止
顎顔面頸部機能再建学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度	平成24年度より学生募集停止
生体支持組織学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止
環境社会医歯学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止
老化制御学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止
全人的医療開発学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度	平成24年度より学生募集停止
認知行動医学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度	平成24年度より学生募集停止
生体環境応答学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止
器官システム制御学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止
先端医療開発学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度	平成24年度より学生募集停止

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地			
保健衛生学研究科 (博士課程(前期)) 総合保健看護学専攻 生体検査科学専攻	2	—	—	—	修士(看護学) (保健学)	—	H13年度	東京都文京区湯島1-5-45	平成26年度より 学生募集停止		
生体検査科学専攻	2	12	—	24	修士(看護学) (保健学)	1.20	H13年度				
(博士課程(後期)) 総合保健看護学専攻	3	8	—	24	博士(看護学) (保健学)	1.04	H13年度				
生体検査科学専攻	3	6	—	18	博士(看護学) (保健学)	0.99	H13年度				
(博士課程) 看護先進科学専攻	5	13	—	26	博士(看護学)	1.11	H26年度				
共同災害看護学専攻	5	2	—	4	博士(看護学)	1.25	H26年度				
生命情報科学教育部 (博士課程(後期)) 高次生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (バイオ情報学) (高次生命科学) (生命情報科学) (理学) (工学) (学術)	—	H15年度			平成24年度より 学生募集停止	
大学の名称	東京医科歯科大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度			所在地	
医学部	年	人	年次人	人		倍		東京都文京区湯島1-5-45			
医学科	6	101	2年次	623	学士(医学)	1.01	S26年度				
保健衛生学科	4	90	5	360	学士(看護学)、 学士(保健学)	1.01	H元年度				
歯学部	6	53	2年次	320	学士(歯学)	1.00	S26年度				
歯学科	4	32	5	155	学士(口腔保健学)	1.04	H16年度				
口腔保健学科	4	32	3年次	6							

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月 <small>担当授業科目名</small>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月 <small>担当授業科目名</small>	
該当なし								

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成27年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
136	202	338	128	208	336	65	0	65	0
(134)	(195)	(329)	[Δ8]	[6]	[Δ2]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			該当なし
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="582 427 970 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<div data-bbox="563 1272 951 1348" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>	
--	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年 5月18日)